

女性の活躍で農業に活力を！ 女性の主体的な農業経営への参画を支援

■ 東讃管内女性農業者 ■

（東讃農業改良普及センター 宮内潮美 ○榎田佳子 担い手育成部門）

●対象の概要

国の「新たな食料・農業・農村基本計画」においては、施策として「女性農業者が能力を最大限発揮できる環境の整備」が掲げられ、女性農業者の確保・育成が求められている。

そこで、経営の発展を目指し、農業経営に積極的に参画する意欲ある女性農業者を育成するため、管内の次代を担う女性の認定農業者や新規就農者等からリストアップした次世代女性農業者リーダーを支援対象とする。

●課題を取り上げた理由

東讃管内の基幹的農業従事者のうち女性の占める割合は40.2%となっており、女性農業者は農業・農村の重要な担い手であり、その役割の評価や能力発揮が望まれている。

しかしながら、管内の認定農業者に占める女性の割合は、わずか7.8%と、経営主のほとんどを男性が占めている状況となっている。一方、平成27年度の新規就農者に占める女性の割合は32.7%と高く、女性の農業に対する関心の高さが見受けられる。

このことから、次代を担う女性農業者が活躍しやすい環境づくりを目的に、女性農業者の確保・育成と活躍推進を課題として取り上げた。

●普及活動の経過

1 所内体制づくりと対象者のリストアップ

課題解決に向け、より効果的な取り組みになるよう、「経営改善担当」「新規就農担当」と相互に連携し、対象となり得る農家についての情報共有を図りながら連携強化を図った。

管内における次代を担う女性の認定農業者や新規就農者等を対象に、所内の各担当への聞き取りにより、次世代女性農業者リーダーのリストアップを行った。63名分の候補者リストを作成し、そのうちの新規就農者等を新規認定農業者へと誘導することとした。

2 「輝くアグリレディ交流セミナー」の開催

リストアップした女性農業者を対象に、女性の主体的な農業経営の参画を進める目的で、セミナーを開催した。

女性新規就農者や女性農業士の取組みについての事例発表や、お互いの持つ悩みや課題について意見交換を行った。



女性新規就農者の取組み事例発表



交流会で フリートーク

表-1 輝くアグリレディ交流セミナー

| 月日 | セミナー内容 |
|-------|--|
| 8月30日 | ①事例発表 「畑の可能性は無限大 ～畑に人を呼ぶ仕掛けと情報発信～」 岡山市 めぐみ農園 代表 岡本尚子氏 ②事例発表 「自信を持って自分の生産物をお届けしたい ～消費者に酪農のことを知ってもらうために～」 県農業士、(有)大山牧場 代表取締役 大山育江氏 ③フリートーク あなたが抱える課題は？ ～共に話してヒントを得よう～ |

3 「輝くアグリレディ課題解決研修」の開催

女性農業者の多くが抱えている課題である「売り先の確保」や「6次産業化の取組み」などに対応するため、課題解決研修を行った。



(有)コスモファームほ場見学

表-2 輝くアグリレディ課題解決研修

| 月日 | セミナー内容 |
|--------|--|
| 10月20日 | ①事例発表 「小規模でも夢がもてる農業の実践 ～見せ方にこだわる農産物の生産と販売～」 (有)コスモファーム 中村裕太郎 氏 ②ほ場及び加工施設(ピカルス製造)見学 |
| 11月27日 | ①事例紹介・視察「とくしまマルシェ」 株式会社サーブ 代表取締役 金森直人氏 ②事例発表 なると金時の若手生産者集団の取組み (株)農家ソムリエーズ 代表取締役 藤原俊茂氏 |

4 家族経営協定及び共同申請の推進

家族で農業経営を営んでいる女性が、主体的に農業経営に参画できるよう共同申請や家族経営協定の締結を支援し、認定農業者へと誘導した。

1) 農業経営改善計画作成会での推進活動

各市町の農業経営改善計画作成会の際に、家族経営協定の推進を行った。

家族経営協定に関心の高い農家に対して、後日個別巡回を行い、協定への理解を図るとともに、協定書作成の支援を行った。

2) 新規就農者への推進活動

夫婦で新規に農業を始めた、あるいは今後農業をめざそうとする新規就農者(志向者)へ家族経営協定の意義や重要性について説明を行い、協定の推進を行った。

3) 関係機関との連携

各市町農業委員会と連携し協定の調印を行うとともに、認定農業者の共同申請がスムーズに進むよう農林水産主務課と連携を密にした。



調印を行う新規就農者

4) 締結農家へのフォローアップ

今年度は、三木町の家族経営協定を締結している農家を対象に経営改善への活用や共同申請のメリット等についての実態調査を行い、今後の推進資料としてまとめた。

●普及活動の成果

- 1 対象者に対し、セミナーや研修会に参加を促す企画やチラシづくりを工夫した結果、次代を担う女性農業者16名を確保することができた。
また、直売所を営むセミナー参加者から「今後、お客様目線のディスプレイを考えたい。考え方一つで付加価値をつけて売ることができるようなど勉強になった」等の声があり、参加者は、今後の改善策のヒントを得ることができ、それを実践しようとする動きが見られた。
- 2 今年度、4戸が家族経営協定を締結し、東讃管内の協定締結農家は122戸(累計)となった。
また、認定農業者の共同申請により、新たに女性4人が認定農業者となった。
- 3 研修会の参加者等から、6次産業化に新たに取り組む女性農業者を2名掘り起こすことができた。

●今後の普及活動の課題

- 1 2010年世界農林業センサス等によると「女性が参画している農業経営体ほど販売金額が大きい」と言われていることから、こうした事例を参考に、女性特有の視点と能力を發揮した新たなチャレンジを行う女性の経営発展を支援する。
- 2 女性農業委員や女性農業士など、先進的な取組みを行っているリーダーの力を活用しつつ、女性農業者同志のネットワーク化を図ることが必要である。